

るが、平常時に何人受けられるかのデータが重要である。今回の、3—2—3名というのは、一つの目安になると考える。

・災害マニュアルに関しては、あるが全施設の92.6%であったが、定期的な改訂を行っているのは、36.7%に留まった。また災害マニュアルに比べ施設管理マニュアル(ライフラインに関するマニュアル)を有しているのは全施設の61.6%と低かった。

・訓練に関しては、多数傷病者受け入れの訓練は、全施設の67.8%で実施されているが、ライフライン停止を想定した訓練を実施しているのは全施設の21.8%と低かった。広域医療搬送訓練に参加しているのは、全施設の58.8%であったが、基幹病院でも参加していない施設が22.2%あった。基幹病院が広域搬送の中心的役割を果たすことを考えると、すべての基幹病院が参加すべきである。

・NBC 訓練に関しては、全施設の75.7%が未実施であった。基幹病院に限っても50%が未実施であった。

・医療救護チーム(DMAT 等)に関しては、全施設の29.7%が医療救護チームを有していなかった。拠点病院の要件に含まれることを考慮するとこの数字は高すぎる。

・医療救護チームが地域の災害訓練に参加しているものが全体の76.4%、基幹病院で80%であった。

・平常時に地域における災害拠点病院としての役割に関する質問では、救急隊、レスキュー、警察などの組織を含んだ協議会があるのは全施設の28.8%であり、基幹病院でもあるのは52.8%であり、地域での連携が不十分であることがわかった。

・基幹病院において、災害医療従事者の育成を行っているものは、62.9%に留まった。

D. 考察

今回のアンケート調査は、将来の災害拠点病院の評価を前提に実態調査を行った。災害拠点病院を評価する場合は、下記のことが問題となるであろう。

- 1) 基幹災害医療センターと地域災害医療センターでは、整備に差がある。
- 2) 病院の規模により整備に差がある。
- 3) 経営母体により整備に差がある。日本赤十字社などは災害対応が業務の中に含まれている。
- 4) 救命救急センターが附随しているか否かに

より整備に差がある。

よって、同じ評価項目ですべての拠点病院を評価しても差が出て当然と思われる。しかしながら、今回は、まず実態調査のアンケートであるため、質問事項をすべて満たせば、あるべき姿の拠点病院に近づくようにアンケート作成した。

拠点病院のあるべき姿は、厚生労働省が決めた災害拠点病院指定要件(平成8年5月10日「災害時における初期救急医療体制の充実強化について」健康政策局長から都道府県知事宛)および医療計画の「災害時における医療体制の構築に係る指針」を参考にした。

アンケートの集計は、今回は、災害拠点病院全施設(351)、基幹災害医療センター(36)、地域災害医療センター(315)に分類して評価した。災害拠点病院の要件に含まれる質問事項に依らず、低い達成率(60%以下)であった事項を下記にあげる。

- ・診療に必要な施設は耐震構造であること
- ・除染設備、表面汚染測定器、防毒マスク等NBC 等特殊な災害に対する医療活動に必要な施設・整備を有していること
- ・医薬品、医療機材等を備蓄していること
- ・ライフラインの生活必需基盤が維持可能であること
- ・研修・訓練等による人材育成を実施すること
- ・自己完結型の医療救護に対応できる携行式の応急用医療資器材、医薬品、テント、発電機等の備蓄
- ・広域搬送訓練への参加
- ・地域の医療機関への応急用資器材の貸し出し機能

地域災害医療センターと基幹災害医療センターを比較すると、すべての面で基幹災害医療センターが優れていた。

今回のアンケートは545箇所の災害拠点病院に郵送し、351の返答を得た(回収率64.4%)。194箇所が未回収であった。未回答の施設は、回答のあった施設より整備が進んでいるとは考えづらい。よって、全施設351の集計は、良いほうへバイアスがかかっている可能性が高く、現状はもっと厳しい可能性がある。

今回のアンケート調査では、将来的に災害拠点病院も救命救急センターの様に厚生労働省によるランク付け評価が必要かという質問を行った(資料2のその他参照)。その結果は、思うが53.3%、思わないが46.7%であり、思うが僅かに上回った。ランク付け必要の意見としては、災害拠点病院のレベル向上のために役立つ、統一された設備や人材の存在は、救助側の連携や被

災者側の安心に繋がる、地域格差解消に役立つ等の意見が見られた。一方、ランク付け不要の意見としては、医療機関により規模が異なるためランク付けは困難、災害対応の体制整備には公的機関や周囲の協力が不可欠のため病院のランク付けは無意味である、予算の裏づけのないランク付けは負担となり不安などの意見が出された。今後、将来的に災害拠点病院の評価を行う場合は、評価の目的を明確にし、その目的には補助金の支給も加えるべきと考える。

今後は今回のアンケートの結果・意見を踏まえ、評価項目の策定、項目の配点を行いランク付けのための評価基準を作成する予定である。

E. 結論

今回は、災害拠点病院の評価方法を検討するため、まず現在の災害拠点病院の実態調査を行った。指定・整備から10年経過したが、厚生労働省の指定要件を満たしていない施設が見受けられた。特に問題となるのはハード面では、施設の耐震化およびライフラインの強化であろう。ソフト面では、日本DMAT研修等で人材の育成は進んでいるが、地域での連携体制の中心的担い手としては不十分であった。災害拠点病院を整備するには、人、物、金が必要であることは言うまでもない。今後は、災害拠点病院の評価基準を作成し、救命救急センターが厚生労働省の充実度評価により補助金事業が行われたように、災害拠点病院の評価結果も補助金事業に反映されるべきと考える。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

特になし

H. 知的財産権の出願・登録状況

特になし

災害拠点病院の現状に関するアンケート

アンケートご協力をお願い

- ・このアンケートは、災害拠点病院の実態を把握し、今後のあるべき形を検討するための資料として実施するものです。
- ・アンケートは、災害時医療対応の責任者の方がご回答ください。
- ・ご回答は平成20年1月1日の状況でご回答ください。
- ・回答は選択肢に○をつけるものが基本となります。数値等を記入する場合は、質問に従ってご記入ください。
- ・アンケート結果は統計的に処理しますので、個々の病院の情報が公表されることはありません。
- ・お忙しいところ恐縮ですが、1月31日までにご回答の上、同封の返送用封筒にて郵送頂きますようお願い申し上げます。

貴施設名： _____

ご回答者名： _____

ご所属科 ご役職： _____

電話： _____

ファックス： _____

電子メール： _____

I. 災害拠点病院ハード面に関するアンケート

1. 施設に関する質問

1) 貴施設の病床数は何床ですか? _____ 床

2) 次のうち貴施設が該当するものを選んでください。(複数選択可)

1. 国公立大学病院 2. 私立大学病院 3. 高度救命救急センター
4. 救命救急センター 5. 基幹災害医療センター 6. 地域災害医療センター

3) 災害時において多数傷病者が発生した場合、病院としては多数の傷病者に対応するためのスペースおよび簡易ベッド等が必要になると考えられます。

多数傷病者に対応可能な外来スペースがありますか?

1. ある 2. ない

ある場合は、場所を具体的に書いてください。(例 待合室、エントランス等)

また、その広さはおよそ _____ 平米

4) 簡易ベッドの準備

1. なし 2. 1-50 3. 50以上 4. 100以上

2. 建物の耐震設計強度に関する質問

1) 診療に必要な施設は耐震構造であることが望まれますが、貴院は新耐震基準(昭和56年1981年)で建築されていますか?

下表の当てはまるところに○をお願いします。

	免震に なっている	すべて新耐震基準を 満たしている	一部新耐震基準を 満たしている	新耐震基準を 満たしていない	不明・ その他
救急部門					
病院全体					
職員宿舎など 付属施設					

(表で説明できない場合、以下にコメントをお願いします。)

2) 貴院が新耐震基準(昭和56年1981年)前に建築された病院である場合にお答えください。

貴院は今まで耐震診断を受けたことがありますか?

1. 受けた(_____ 年頃) 2. 受けていない 3. 計画中 4. 不明

3) 診断結果についてお聞きします

1. 耐震補強は必要なしと診断された
2. 耐震補強が必要と診断され、耐震補強工事を完了した。
3. 耐震補強が必要と診断され、耐震補強工事中である。
4. 耐震補強が必要と診断され、耐震補強計画中有である。
5. 耐震補強が必要と診断され、建替計画中有である。
6. 不明

3. ライフラインに関する質問

災害拠点病院は、水・電気等のライフラインの維持機能を有することが望まれます

1) 給水設備に関して、災害時の備蓄としての受水槽がありますか？

1. なし
2. 容量1日分
3. 容量2日分
3. 容量3日分
4. それ以上(日分)
5. 不明

2) 給水設備の代替として使用可能な井戸設備がありますか？

1. ある
2. ない

3) 給水設備の代替として、雨水利用設備、雑水タンク、消化用水がありますか？

1. ある
2. ない

4) 非常用電源として自家発電機を設置していますか？

1. ある(重油 LPG 都市ガス)
2. ない

5) 液体燃料の場合、備蓄はどのくらいありますか？

1. 12時間
2. 一日
3. 二日
4. それ以上(日)

6) 都市ガスの場合、配管はどうなっていますか？

1. 中圧系
2. 低圧系
- 3, 不明
4. その他()

7) 電気設備の代替として可搬式の発電機が何台ありますか？

1. ない
2. ある ____ 台

8) 熱源の代替(プロパンガス、卓上コンロなど)は準備していますか？

1. ある
2. なし

4. 通信設備に関する質問

1) 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の端末は、どこにありますか？

(複数回答可)

1. 救急診療部門 2. 看護部門 3. 事務部門 4. 判らない

2) 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の管理（情報の更新等）は誰が行っていますか？（複数回答可）

1. 医師 2. 看護師 3. 事務 4. 決まっていない

3) 通常電話以外の災害時用の通信回線がありますか？（複数回答可）

1. 防災無線、 2. 衛星電話 3. その他 (_____)

5. 院内の医療設備に関する質問

1) 収納棚を床あるいは壁に固定していますか？

1. している 2. していない 3. 一部のみしている 4. 判らない

2) 无影灯、血管撮影機器、CTなどをボルトで建物躯体に固定していますか？

1. している 2. していない 3. 判らない

6. 備蓄に関する質問

1) 災害に備えて医薬品・衛生資器材の備蓄をしていますか？

1. 備蓄されている 2. 備蓄されているが不十分 3. されていない

2) 災害に備えて飲料水・食料の備蓄はされていますか？

1. なし 2. 一日分 3. 二日分 4. 三日分 5. それ以上

3) 災害時の長期的な必要物資の供給に関して、調達計画がありますか？

1. 計画がある 2. 検討したが計画なし 3. 検討されたことなし

4) 自己完結型の医療救護班を派遣するための医療資器材が備蓄されていますか？

(被災地における自己完結型の医療救護に対応できる携行式の応急用医療資器材、応急用医薬品、テント、発電機、飲料水、食料、生活用品等)

1. 備蓄されている 2. 備蓄されているが不十分 3. されていない

7. NBCに関する質問

災害拠点病院はNBC等特殊な災害に対応するため、医療活動に必要な施設・設備・備品を有していることが望まれます。

1) 病院収容前に病院として除染を実施する計画を持っていますか？

1. 持っていない 2. 持っている

2) 除染設備がありますか？

1. ない 2. ある

2) -1

2) で「ある」とお答えいただいた施設に伺います。除染設備は、

1. テントによる設備である 2. 常設の設備である

2) -2

2) で「ある」とお答えいただいた施設に伺います。

何分で除染開始可能となりますか（事務官3名で準備開始したとして）

_____分

3) サーベイメーターがありますか？

1. ない 2. ある (台)

4) 個人防護服（レベルC以上）がありますか？

1. ない 2. ある (着)

8. 移動・搬送手段に関する質問

1) ヘリポートを有していますか？（複数回答有）

1. ない 2. 敷地内地上にある 3. 施設屋上にあり着陸可
4. 施設屋上にあるがホバリングのみ
5. 敷地内にないが、病院近接地に非常時に使用可能な離着陸場を確保してある
(5. の場合、ヘリポートまでの距離は？ _____ Km)

2) 平常時のヘリポートの使用頻度

1. 使用していない 2. 年1-5回 3. 年6回以上

3) ドクターカーがありますか？

1. ない 2. ある

4) 災害時、医療救護班を輸送する緊急車両（4WD等）があるか

その車両には、応急用医療資器材、テント、発電機、飲料水、食料、生活用品等の搭載が可能であることが望ましい

1. ない 2. ある 3. あるが搭載能力なし

9. 地域の医療機関への応急用資器材の貸し出しシステムができていますか？

地域の医療機関への応急用資器材の貸し出し機能が望まれます

1. システムなし 2. システムは出来ている 3. あるが不十分

10. 災害医療の研修に必要な研修室を有していますか？

基幹災害医療センターについては、災害医療の研修に必要な研修室を有することが望まれます

1. ない 2. ある

II. 災害拠点病院ソフト面に関するアンケート

1. 平常時の診療能力に関する質問

下記の重症患者を同時に何人受け入れることができますか？

重症外傷 熱傷 挫滅症候群 に関して各々別々に人数を記載してください

（平常時に同時に受け入れられる人数を記載してください。なお、この人数を参考に都道府県では災害時の受入調整を行うことを想定しています）

重症外傷（ 人） 熱傷（ 人） 挫滅症候群（ 人）

2. 院内に災害に関して検討する委員会がありますか？

1. ない
2. 全セクション(医師、看護師、事務)が参加し定期的に行われる委員会があり、議事録がある
3. 委員会はあるが、不十分である

3. 病院の災害対応マニュアルに関する質問

対応マニュアルの整備、研修、訓練等による人材育成を実施することが望まれます。

1) 災害対応マニュアルがありますか？

1. なし 2. ある

ある場合は、定期的に改訂されていますか？

1. されていない 2. されている

2) 施設管理マニュアルがありますか？

(発災後のライフラインに関するマニュアルがあるか？)

1. なし 2. ある

ある場合は、定期的に改訂されていますか？

1. されていない 2. されている

4. 災害訓練に関する質問

1) 多数傷病者受け入れの訓練をしているか

1. していない 2. している

2) ライフライン停止を想定した災害訓練を行っているか

1. していない 2. している

3) 広域医療搬送訓練に参加しているか

(患者等の受け入れおよび搬出を行う広域搬送への対応機能を持つことが望まれます)

1. 参加していない 2. 参加している

4) NBC 災害に関する訓練をしているか

1. 訓練していない 2. 訓練している

5. 医療救護チームに関する質問

(自己完結型の医療救護チームの派遣機能)

1) DMAT あるいはそれに相当するチームを有している

1. なし 2. 1チーム 3. 2チーム 4. 3チーム 5. それ以上

チームの構成は1チームあたり、医師 人 看護師 人 事務 人

2) 出動経験の有無

1. ない 2. ある (回)

2) チームが地域の災害訓練に参加している

1. 参加している 2. 参加していない

3) チームの医療資器材が定期的に点検整備されているか?

1. していない 2. されている

6. 平常時における災害拠点病院の役割に関する質問

基幹災害医療センターは、都道府県において災害医療を提供する上での中心的な役割を担うことが望まれます。また地域災害医療センターは、地域において中心的な役割を担うことが望まれます。

1) 救急隊、レスキュー、警察などの組織を含んだ協議会有り、定期的に開催していますか?

1. していない 2. している (協議会名 _____)

2) 災害時に、地域の他の医療施設、日本医師会等と如何に連携するか協議する会議が定期的に開催されていますか?

1. していない 2. している (協議会名 _____)

3) 基幹災害医療センターにおいては、災害医療に精通した医療従事者の育成を行っていますか?

1. していない 2. している (講習会名 _____)

アンケート協力ありがとうございました。

III. 最後に、拠点病院にアンケートするこの機会を利用し、下記のアンケートにもお答え願えたら幸いです。

1. DMATに関する質問です。

1) 貴院には、研修を終了したDMATが、現在何チームありますか?

1. 0チーム 2. 1チーム 3. 2チーム 4. 3チーム以上

2) DMAT研修終了後、職員の転勤・退職などの理由で、所属DMAT数の減少を経験されたことはありますか?

1. はい 2. いいえ

3) 貴院の属する都道府県が被災した場合、貴院に域外からの DMAT が参集することを貴院職員に周知されていますか？

1. はい 2. いいえ

4) 貴院は近隣の空港災害対応訓練に参加されていますか？

1. はい 2. いいえ

4) -1

4) で「はい」とお答えいただいた施設に伺います。

その訓練に貴院 DMAT が関与していますか？

1. はい 2. いいえ

5) 貴院は近隣の災害拠点病院の災害対応訓練に参加されていますか？

1. はい 2. いいえ

5) -1

5) で「はい」とお答えいただいた「施設」に伺います。

その訓練に貴院 DMAT が関与していますか？

1. はい 2. いいえ

6) 貴院は、先の中越沖地震に際し、DMAT の派遣を実施しましたか？

1. はい 2. いいえ

6) -1

6) で「いいえ」とお答えいただいた「施設」に伺います。

DMAT の派遣を行わなかった理由は、下記のいずれに相当しますか？

1. 要請を受けたが派遣できる態勢ではなかった。(含;間に合わなかった。)
2. 自主派遣を考慮したが、派遣できる態勢ではなかった。
3. 要請を受けなかったので、派遣を考慮しなかった。
4. その他

「その他」を選んだ方は、宜しければ、派遣に至らなかった事由を () にお書き下さい。;

(_____)

2. 緊急地震速報に関する質問

平成19年10月1日より緊急地震速報が導入されましたが、貴施設での導入状況についてお聞きします。

1) 緊急地震速報の受信設備を設置しましたか？

1. なし 2. あり

1) - 1

1) で「なし」とお答えいただいた施設に伺います。

緊急地震速報の導入を予定していますか？

1. なし 2. あり 予定時期は？ (年 月 (頃))

1) - 2

1) で「あり」とお答えいただいた施設に伺います。

活用方法は以下のどれでしょうか？(複数回答可)

1. エレベーター制御 2. 自動ドア開放 3. 院内一斉通報
4. その他 ()

1) - 3

1) で「あり」とお答えいただいた施設に伺います。

職員用の速報受信時の対処方法のマニュアルを作成していますか？

1. ある 2. ない

1) - 4

1) - 3でマニュアル「ある」とお答えいただいた施設に伺います。

職員に対し速報受信時の訓練を実施しているか？

1. 訓練していない 2. 訓練している 3. 考慮中である

3. 最後の質問です

1) 災害拠点病院に指定され、総合的に良かったか悪かったかどちらでしょう？

1. 悪かった 2. 良かった 3. どちらともいえない

2) 悪かった点はどのような点でしょうか？(複数回答可)

1. 資器材を揃えるのに予算がない
2. 研修、訓練等で人員が取られ通常業務に支障が出る
3. 災害拠点病院の条件を整えるのが負担である
4. その他 _____

3) 良かった点はどのような点でしょうか？(複数回答可)

1. 病院全体の災害への意識が向上した
2. 災害対応への自信ができた
3. 災害拠点病院になったことで、市民の病院に対する信頼度が上がった
4. 災害に興味のある人材が集まってきた
5. 実際の災害で役立った
6. その他 _____

4) 将来的に災害拠点病院も救命救急センターの様に厚生労働省によるランク付けの評価が必要と思いますか？

1. 思わない
2. 思う

いずれの意見もその理由をお聞かせください。

アンケートは以上です。ご協力、誠にありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れご返送願えたら幸いです。

1. 災害拠点病院ハード面に関するアンケート

1. 施設に関する質問

1) 自施設の病床数はいくつですか？

病床数	0-99	100-199	200-299	300-399	400-499	500-599	600-699	700-799	800-899	900-999	1000-1099	1100-1199	1200-1299	1300-1399	1400-1499	不明	Total
病院数	5	35	42	56	57	53	37	15	9	8	14	8	1	3	1	7	351
割合	1.5%	10.2%	12.2%	16.3%	16.6%	15.4%	10.8%	4.4%	2.6%	2.3%	4.1%	2.3%	0.3%	0.9%	0.3%		100.0%

2) 次のうち該当するものを選んでください。

	選択肢	病院数	割合
基幹災害医療センター		36	10.3%
地域災害医療センター		315	89.7%
合計		351	100.0%

3) 災害時において多数傷病者が発生した場合、病院としては多数の傷病者に対応するためのスペースおよび簡易ベッド多数傷病者に対応可能な外来スペースがありますか？

	選択肢	病院数	割合
ある		319	93.8%
ない		21	6.2%
不明・回答なし		11	
合計		351	100.0%

ある場合は、場所を具体的に書いてください。(対象サンプル数319。重複回答あり)

分類	回答数	割合
待合室・待合ホール	202	63.3%
エントランス・玄関	98	30.7%
リハビリ室	38	11.9%
通路・廊下	19	6.0%
講堂・体育館・礼拝堂	57	17.9%
実習室・講義室・会議室・研究室・応接室・ブレイクーム	48	15.0%
病棟・病室	13	4.1%
災害対策施設	3	0.9%
食堂	13	4.1%
倉庫	2	0.6%
ロビー・ホスピタルモール	20	6.3%
救急外来	12	3.8%
研修センター	5	1.6%
診察室・診察予備室・処置室・保育室	12	3.8%
駐車場・時間外入り口	3	0.9%

また、その広さはおおよそ何平米でしょうか？

平米	1-199	200-399	400-599	600-799	800-999	1000-1199	1200-1399	1400-1599	1600-1799	1800-1999	2000-2999	3000-3999	4000-4999	5000-10000	回答なし	Total
病院数	30	54	58	40	25	18	18	5	4	4	6	3	1	1	52	319
割合	11.2%	20.2%	21.7%	15.0%	9.4%	6.7%	6.7%	1.9%	1.5%	1.5%	2.2%	1.1%	0.4%	0.4%		100.0%

4) 簡易ベッドの準備

	選択肢	病院数	割合
なし		76	22.5%
1-50		191	56.5%
50-99		35	10.4%
100以上		36	10.7%
不明・回答なし		13	
合計		351	100.0%

2. 建物の耐震設計強度に関する質問

1) 診療に必要な施設は耐震構造であることが望まれますが、貴院は新耐震基準(昭和56年1981年)で建築されていますか?

a. 救急部門

選択肢	病院数	割合
免震になっている	40	13.0%
すべて新耐震基準を満たしている	194	63.0%
一部新耐震基準を満たしている	20	6.5%
新耐震基準を満たしていない	54	17.5%
不明・その他・回答なし	43	
合計	351	100.0%

b. 病院全体

選択肢	病院数	割合
免震になっている	33	10.0%
すべて新耐震基準を満たしている	147	44.4%
一部新耐震基準を満たしている	122	36.9%
新耐震基準を満たしていない	29	8.8%
不明・その他・回答なし	20	
合計	351	100.0%

c. 職員宿舎など付風施設

選択肢	病院数	割合
免震になっている	7	2.8%
すべて新耐震基準を満たしている	112	45.0%
一部新耐震基準を満たしている	59	23.7%
新耐震基準を満たしていない	71	28.5%
不明・その他・回答なし	102	
合計	351	100.0%

～貴院が新耐震基準(昭和56年)前に建築された病院である場合にお答えください。～

2) 貴院は今まで耐震診断を受けたことがありますか?

選択肢	病院数	割合
受けた	107	60.1%
受けていない	60	33.7%
計画中	11	3.1%
不明・回答なし	173	
合計	351	97.0%

また、耐震診断を受けたのはいつですか?(対象サンプル数:107)

年度	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	回答なし	Total
病院数	2	1	0	0	1	0	8	7	13	4	5	4	3	8	9	8	12	9	9	107
割合	2.0%	1.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	8.2%	7.1%	13.3%	4.1%	5.1%	4.1%	3.1%	8.2%	9.2%	8.2%	12.2%	9.2%	9	100.0%

3) 診断結果についてお聞きいたします(対象サンプル数:107)

選択肢	病院数	割合
耐震補強は必要なしと診断された	18	16.8%
耐震補強が必要と診断され、耐震補強工事を完了した	20	18.7%
耐震補強が必要と診断され、耐震補強工事中である	4	3.7%
耐震補強が必要と診断され、耐震補強計画中である	27	25.2%
耐震補強が必要と診断され、建替計画中である	25	23.4%
不明・回答なし	13	
合計	107	87.9%

3. ライフラインに関する質問
災害拠点病院は、水・電気等のライフラインの維持機能を有することが望まれます。

1) 給水設備に関して、災害時の備蓄としての受水槽がありますか？

選択肢	病院数	割合
なし	49	14.0%
容量1日分未満	10	2.8%
容量1日分	138	39.3%
容量2日分	50	14.2%
容量3日分	86	24.5%
それ以上	13	3.7%
不明・回答なし	5	
合計	351	98.6%

2) 給水設備の代替として使用可能な井戸設備がありますか？

選択肢	病院数	割合
ある	157	45.2%
ない	190	54.8%
不明・回答なし	4	
合計	351	100.0%

3) 給水設備の代替として、雨水利用設備、雑水タンク、消化用水がありますか？

選択肢	病院数	割合
ある	178	51.6%
ない	167	48.4%
不明・回答なし	6	
合計	351	100.0%

4) 非常用電源として自家発電機を設置していますか？

選択肢	病院数	割合
ある	348	100.0%
ない	0	0.0%
不明・回答なし	3	
合計	351	100.0%

燃料には何を使用していますか？

選択肢	病院数	割合
重油	223	79.1%
軽油	13	4.6%
灯油	24	8.5%
都市ガス	6	2.1%
LPG	2	0.7%
重油&軽油	3	1.1%
重油&灯油	2	0.7%
重油&都市ガス	7	2.5%
軽油&都市ガス	1	0.4%
灯油&都市ガス	1	0.4%
不明・回答なし	69	
合計	351	3.2%

5) 液体燃料の場合、備蓄はどのくらいありますか？

日数	12時間未満	12時間	1日間	2日間	3日間	4日間	5日間	6日間	7日間	8日間	9日間	10日間	15日間	20日間	30日間	その他	回答なし	Total

病院数	8	46	36	65	84	11	17	8	25	2	0	8	6	2	3	7	23	351
割合	2.5%	14.3%	11.2%	20.2%	26.2%	3.4%	5.3%	2.5%	7.8%	0.6%	0.0%	2.5%	1.9%	0.6%	0.9%	0.9%	7.0%	100.0%

※その他: 3日間以上備蓄があるが、日数の特定ができないケース

6) 都市ガスの場合、配管はどうなっていますか?

	選択肢	病院数	割合
甲圧系		72	42.4%
低圧系		54	31.8%
甲圧・低圧混在		43	25.3%
甲圧・低圧混在		1	0.6%
不明・都市ガスなし・回答なし		181	
合計		351	100.0%

7) 電気設備の代替として可燃性の発電機が何台ありますか?

台数	0台	1台	2台	3台	4台	5台	6台	7台	8台	9台	10台	~20台	~30台	その他	回答なし	Total
病院数	117	51	44	59	19	17	12	4	3	2	5	6	2	5	5	351
割合	34.3%	15.0%	12.9%	17.3%	5.6%	5.0%	3.5%	1.2%	0.9%	0.6%	1.5%	1.8%	0.6%	0.6%	0.9%	100.0%

※その他: 可燃式の発電機を保有するが、台数を特定できないケース

8) 熱源の代替(プロパンガス、卓上コンロなど)は準備していますか?

	選択肢	病院数	割合
ある		142	41.4%
ない		201	58.6%
不明・回答なし		8	
合計		351	100.0%

4. 通信設備に関する質問

1) 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の端末は、どこにありますか?

	選択肢	病院数	割合
救急診療部門		71	21.4%
看護部門		5	1.5%
事務部門		197	59.3%
救急診療部門 & 看護部門		2	0.6%
救急診療部門 & 事務部門		50	15.1%
看護部門 & 事務部門		3	0.9%
救急診療部門 & 看護部門 & 事務部門		4	1.2%
判らない・不明・回答なし		19	
合計		351	100.0%

2) 広域災害・救急医療情報システム(EMIS)の管理(情報の更新等)は誰が行っていますか?

	選択肢	病院数	割合
救急診療部門		17	5.2%
看護部門		9	2.7%
事務部門		244	74.2%
救急診療部門 & 看護部門		7	2.1%
救急診療部門 & 事務部門		28	8.5%
看護部門 & 事務部門		18	5.5%
救急診療部門 & 看護部門 & 事務部門		6	1.8%
判らない・不明・回答なし		22	
合計		351	100.0%

3) 通常電話以外の災害時用の通信回線がありますか？

選択肢	病院数	割合
防災無線	87	28.9%
衛星電話	47	15.6%
その他	34	11.3%
防災無線 & 衛星電話	87	28.9%
防災無線 & その他	15	5.0%
衛星電話 & その他	8	2.7%
防災無線 & 衛星電話 & その他	23	7.6%
ない・不明・回答なし	50	
合計	351	100.0%

その他の通信回線(対象サンプル数80:重複回答あり)

分類	回答数	割合
災害時専用(優先)電話	38	47.5%
災害時専用(優先)携帯電話またはPHS	20	25.0%
業務用無線(医師会無線、日赤無線、消防無線等)	19	23.8%
トランシーバー	4	5.0%
都道府県防災行政通信網	3	3.8%
その他	9	11.3%

5. 院内の医療設備に関する質問

1) 収納棚を床あるいは壁に固定していますか？

選択肢	病院数	割合
している	66	18.8%
していない	63	17.9%
一部のみしている	208	59.3%
判らない・不明・回答なし	14	4.0%
合計	351	100.0%

2) 无影灯、血管撮影機器、CTなどをポルトで建物躯体に固定していますか？

選択肢	病院数	割合
している	300	93.8%
していない	20	6.3%
判らない・不明・回答なし	31	
合計	351	100.0%

6. 備蓄に関する質問

1) 災害に備えて医薬品・衛生資器材の備蓄をしていますか？

選択肢	病院数	割合
備蓄されている	186	53.9%
備蓄されているが不十分	129	37.4%
されていない	30	8.7%
不明・回答なし	6	
合計	351	100.0%

2) 災害に備えて飲料水・食料の備蓄はされていますか？

選択肢	病院数	割合
なし	29	8.4%
1日分	65	18.8%

2日分	47	13.6%
3日分	193	55.9%
それ以上	11	3.2%
不明・回答なし	6	
合計	351	100.0%

3) 災害時の長期的な必要物資の供給に関して、調達計画がありますか？

選択肢	病院数	割合
計画がある	110	32.2%
検討したが計画なし	112	32.7%
検討されたことなし	120	35.1%
不明・回答なし	9	
合計	351	100.0%

4) 自己完結型の医療救護班を派遣するための医療資器材が備蓄されていますか？

選択肢	病院数	割合
備蓄されている	118	34.2%
備蓄されているが不十分	151	43.8%
されていない	76	22.0%
不明・回答なし	6	
合計	351	100.0%

7. NBCIに関する質問

災害拠点病院はNBCI等特殊な災害に対応するため、医療活動に必要な施設・設備・備品を有していることが望めます。

1) 病院収容前に病院として除染を実施する計画を持っていますか？

選択肢	病院数	割合
持っている	236	68.0%
持っていない	111	32.0%
不明・回答なし	4	
合計	351	100.0%

2) 除染設備がありますか？

選択肢	病院数	割合
ない	241	69.1%
ある	108	30.9%
不明・回答なし	2	
合計	351	100.0%

a. 2)で「ある」とお答えいただいた施設に伺います(対象サンプル108)。防染設備は

選択肢	病院数	割合
テントによる設備である	85	79.4%
常設の設備である	16	15.0%
ともに完備	6	5.6%
回答なし	1	
合計	108	100.0%

b. 2)で「ある」とお答えいただいた施設に伺います。(対象サンプル108)何分で防染開始可能となりますか？(事務官3名で準備開始したとして)

時間	病院数	割合	720分	720分	720分	Total
～10分	7	7.3%	0	0	0	12
～20分	10	10.4%	28	11	6	3
～30分	6	6.3%	20.8%	7.3%	1.0%	2.1%
～40分	11	11.5%	6.3%	20.8%	7.3%	0.0%
～50分	2	2.1%	1.0%	2.1%	0.0%	3.1%
～60分	7	7.3%	1.0%	2.1%	0.0%	1.0%
～70分	1	1.0%	2.1%	0.0%	0.0%	3.1%
～80分	1	1.0%	2.1%	0.0%	0.0%	3.1%
～90分	2	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
～100分	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
～110分	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%
～120分	3	3.1%	1.0%	1.0%	1.0%	3.1%
回答なし	1	1.0%				1.0%
合計	108	100.0%				108

3) サーベイイーターがありますか？

台数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	~20	~30	~35	その他	回答なし	Total
病院数	182	45	28	21	9	7	6	3	2	4	0	4	1	1	9	29	351
割合	58.1%	14.4%	8.9%	6.7%	2.9%	2.2%	1.9%	1.0%	0.6%	1.3%	0.0%	1.3%	0.3%	0.3%			100.0%

※その他: サーマイメーターを保有するが、台数を特定できないケース

4) 個人防護服(レベルC以上)がありますか?

着数	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	~20	~30	~100	~200	その他	回答なし	Total
病院数	224	1	13	9	17	14	12	1	4	0	10	15	3	1	1	3	23	351
割合	68.9%	0.3%	4.0%	2.8%	5.2%	4.3%	3.7%	0.3%	1.2%	0.0%	3.1%	4.6%	0.9%	0.3%	0.3%			100.0%

※その他: 個人防護服を保有するが、着数を特定できないケース

8. 移動・搬送手段に関する質問

1) ヘリポートを有していますか?

選択肢	病院数	割合
ない	59	16.9%
敷地内地上にある	53	15.1%
施設屋上にあり着陸可	62	17.7%
施設屋上にあるがホバリングのみ	4	1.1%
敷地内にはないが、病院近接地に非常時に使用可能な離着陸場を確保してある	161	46.0%
敷地内地上にある & 施設屋上にあり着陸可	3	0.9%
敷地内地上にある & 施設屋上にあるがホバリングのみ	2	0.6%
敷地内地上にある & 病院近接地に非常時に使用可能な離着陸場を確保	1	0.3%
施設屋上着陸可 & 病院近接地に非常時に使用可能な離着陸場を確保	3	0.9%
施設屋上ホバリングのみ & 病院近接地に非常時に使用可能な離着陸場を確保	2	0.6%
不明・回答なし	1	0.3%
合計	351	100.3%

ヘリポートを近隣に確保している場合の距離は? (対象サンプル167)

距離	~0.5km	~1.0km	~1.5km	~2.0km	~2.5km	~3.0km	~3.5km	~4.0km	~4.5km	~5.0km	~5.5km	6.0km	7.0km	>>	11.0km	12.0km	>>	16.0km	回答なし	Total
病院数	53	25	17	30	6	10	2	8	1	5	2	1	1	1	1	1	1	1	3	167
割合	32.3%	15.2%	10.4%	18.3%	3.7%	6.1%	1.2%	4.9%	0.6%	3.0%	1.2%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%	0.6%		100.0%

2) 通常のヘリポートの使用頻度

選択肢	病院数	割合
使用していない	167	48.3%
年1~5回	91	26.3%
年6回以上	88	25.4%
不明・回答なし	5	1.4%
合計	351	100.0%

3) ドクターカーがありますか?

選択肢	病院数	割合
ない	262	76.4%
ある	81	23.6%
不明・回答なし	8	2.3%
合計	351	100.0%

4) 災害時、医療救護班を輸送する緊急車両(4WD等)がありますか?

その車両には、応急用医療資器材、テント、発電機、飲料水、食料、生活用品等の搭載が可能であることが望ましい。

選択肢	病院数	割合
ない	191	55.5%
ある	101	29.4%